

審査結果報告書

平成28年 1 月 18 日

主 査 氏 名

赤 星 透



副 査 氏 名

天 羽 康 之



副 査 氏 名

江 島 耕 二



副 査 氏 名

緒 方 昌 平



1. 申請者氏名 : 小川 英佑

2. 論文テーマ : Association of antibodies to the NR1 subunit of
N-methyl-D-aspartate receptors with neuropsychiatric
systemic lupus erythematosus
(全身性エリテマトーデスの精神神経病変における抗
N-methyl-D-aspartate 受容体 NR1 抗体の役割)

3. 論文審査結果 :

本論文は、SLE の重篤な臓器病変である精神神経障害の病態生理学的機序を解明する目的で、グルタミン酸受容体サブセットのひとつである NMDA 受容体の NR1 サブユニットに対する自己抗体の有無を、NMDA 受容体の細胞外ドメインを用いた ELISA 法ならびにフローサイトメトリー法により検討したものである。SLE 患者血清中には NR1 対する IgG 抗体が存在するが、特に精神症状を呈した diffuse NP-SLE 患者の髄液中では、抗 NR1 抗体ならびに NMDA 受容体の細胞外ドメインを構成する 2 つのペプチド (NR1-A, NR1-C) に対する IgG 抗体が有意に上昇していることが示された。著者が述べている通り、従来から報告されている髄液中の抗 NR2 抗体価と抗 NR1 抗体価との相関性が認められないこと、BBB の破壊や髄腔内産生の有無、臨床経過と抗 NR1 抗体との関連性、自己抗体による病態形成メカニズムなど、今後検討すべき課題は残されている。しかしながら、本論文は SLE において抗 NR1 抗体の存在を初めて示したものであり、審査員は本論文が学位論文に相応しい質の高い研究であることを確認した。この研究が更に発展することを期待したい。